



100mm-2Way Compact Speaker System

CONTROL ONE

取扱説明書



HARMAN

ハーマンインターナショナル 株式会社

◆ 始めに

この度はJBL“CONTROL ONE”スピーカーシステムをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しい接続と設置により、素晴らしい再生音をお楽しみください。

◆ 開梱にあたって

カートンボックスは、緩衝材を含め開梱後もお手元に保存くださるようお勧めします。移転や修理などのため本体を輸送される場合、オリジナル・カートンボックス以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じて、責任を負いかねますのでご注意ください。

◆ 設置について

- 本機には、ブラウン管式テレビやPC（パーソナル・コンピュータ）などと近接した設置が可能な防磁構造が採用されていますが、テレビ側面にスピーカーが接している場合、テレビの構造、タイプによっては画面に色むらが発生する場合があります。この場合はスピーカーシステムをテレビから少し離して設置してください。液晶テレビやモニター、プラズマテレビの画面への影響はありません。

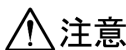
※スピーカーシステムは耐久消費財です。温度、湿度、紫外線などの影響で寿命を縮める恐れがありますので、照明器具の強い光りや直射日光を避け、エアコンの吹き出し口やストーブなどの近くなど、高温になる場所を避けてご使用ください。また、締め切った車内や直射日光の当たる窓際への設置はご遠慮ください。

◀ スピーカーの設置 ▶

- 一般に低音域の音質には設置場所の環境が強く影響します。スピーカーを部屋やラック内のコーナー近くに設置すると、低音が増強され、豊かな低域を味わえる反面、キレのない鈍い音にもなりかねません。反対に、壁から離して設置した場合は、低域の量感は減少しますがシャープですっきりとした音になります。好みの音楽を実際に再生しながら、スピーカーシステムの配置を検討し、最終的な設置場所を決定されることをお勧めします。
- ステレオ効果を最良にするために、左右のスピーカーは聴く人の左右前方に対称に配置してください。左右のスピーカーの間隔が広いほど広がりのある音場が得られますが、ボーカルなど中央定位の音像のイメージが弱まります。聴取位置までの距離に合わせて間隔を調整してください。

◀ 壁面への取り付け ▶

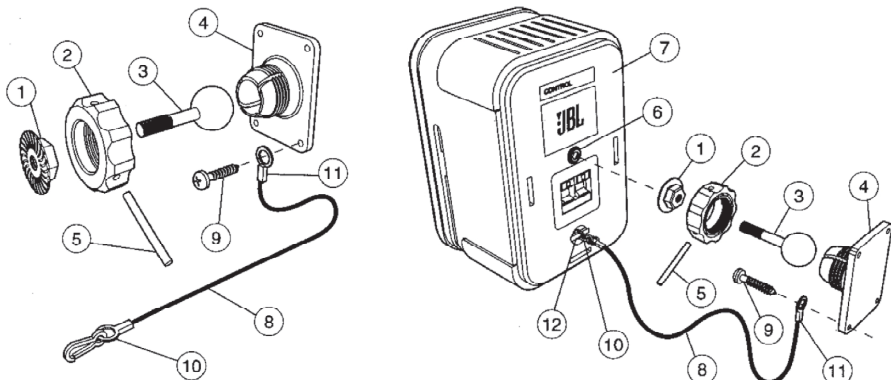
本機には、部屋の壁面などへの設置を可能とする専用ブラケットが付属しています。下記を参照し、取り付けを行う壁面の素材、強度などを確認の上、これらに適した方法で取り付けを行ってください。



注意 本製品にはブラケットを壁に取り付けるためのネジは付属しておりません。取り付ける壁面、天井面の強度がスピーカー+ブラケットの重量(約 3kg)に十分耐えられることをご確認の上、取り付け面の素材、構造に適合した十分な太さのネジと取り付け方法で確実に取り付けを行ってください。取り付けに不安がある場合は、住宅施工関係の業者にご相談下さい。

※従来のMTCタイプのJBL純正ブラケット(MTC-201およびMTC-1、MTC-2、MTC-2+, MTC-3など)への取り付けは出来ません。

- I. ボール/シャフト(③)にねじ込まれているメタルナット(①)をシャフトの根元までねじ込みます。
- II. スピーカー背面(⑦)中央部にあるブラケットねじ穴(⑥)に、ボール/シャフト(③)を廻らなくなるまでねじ込みます。



- III. メタルナット(①)をスピーカー背面から見て時計回りに廻し、スピーカー背面に当たるまでねじ込み、さらにレンチやスパナを利用して締め込み、シャフトを本体側にしっかりと固定します。
- IV. 壁面の強度を確認の上、素材、厚さに合った 4～4.8mm 径のねじまたはビス、ナットなどを使用して、ブラケット本体(④)を取り付け面に固定します。
- V. 万一の落下を防ぐため、落下防止用ステンレス・ワイヤーケーブル(⑧)が付属しています。壁面取り付け用ネジの 1 つにワイヤー片端のリング(⑪)を通し、リングごとネジで固定してください。
- VI. ワイヤー(⑧)のもう一方の端のフック(⑩)を、スピーカー背面下部にあるバー(⑫)に固定します。
- VII. ボール/シャフト(③)のボール部をブラケット(④)に押し込み、モールドナット(②)を被せて締め付けます。スピーカーの向き、角度を調整しながら、メタルバー(⑤)を用いてしっかりと固定してください。

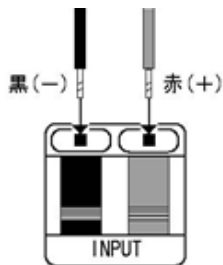


◆ 接続

本機のスピーカー端子には、赤十/黒一に色分けされたターミナルを採用しています。市販のスピーカーケーブルを使用し、極性に注意しながら背面の端子にケーブルを接続してください。

※皮膜を剥いたケーブル先端を端子に差し込む際、端子の金属部が皮膜を咬まないようご注意ください。接触不良により音が出なくなる場合があります。

また、ケーブルの導線部どうしが接触し、ショートする恐れがありますので、皮膜を長く剥きすぎないようにご注意ください。



⚠ 注意 スピーカーをアンプに接続する際は、必ず電源を切ってから作業を行ってください。電源が入れたまま接続を行うと、アンプやスピーカーを破損する恐れがあります。

◆ 再生音量について

アンプのボリューム目盛りとスピーカーから出る音量との関係は、スピーカーの効率とインピーダンス、アンプの出力特性、およびソースとなる機器（CD プレ

ーヤーなど)の出力レベルなど、機器それぞれの特性とその組み合わせによって異なります。本機に出力の小さなアンプを組み合わせる場合、ボリュームを上げ過ぎたり、トーンコントロールなどで極端に低域を増強したりすると、アンプ出力が歪むことによる音割れが発生し、許容入力以下のパワーでもスピーカーを破損することがあります。音に異常を感じた際は、ボリュームを下げてお楽しみください。

◆ 保守

本体が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジンなど揮発性の溶剤を含むものは絶対に使用しないでください。また、スプレー式殺虫剤などがかからないようにご注意ください。

グリルネットにホコリなどが付着した場合は、電気掃除機を使用してホコリを取ってください。その際、強く吸い過ぎないように掃除機の強さを調整してください。また、グリルを水洗いしないでください。グリルに色むらやたるみが発生する恐れがあります。

◆ 保証について

- 保証は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、お買い上げ店の捺印、ご購入年月日などの記載内容をお確かめの上、保証書は大切に保管してください。
- スピーカーシステムは耐久消費財です。特に激しい動きが要求されるウーファーには多くのストレスがかかるため、その実用対応年数には限りがあります。温度、湿度、紫外線などの影響で寿命を縮める恐れがありますので、高温になる場所を避けてご使用ください。

◆ 規格

形式	2ウェイ・ブックシェルフ型	
使用ユニット	LF:	100mm 径ポリラミネートバルブコーンウーファー
	HF:	13mm 径チタンラミネートダイアフラム バランスドライブ・ツイーター
周波数特性	50Hz~20kHz	
許容入力	50W(連続), 200W(ピーク)	
出力音圧レベル	89dB(2.83V/1m)	
インピーダンス	6Ω	
クロスオーバー周波数	4kHz	
寸法(W×H×D)	155×228×139 mm	
重量	2.4kg	

※製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

HARMAN

ハーマンインターナショナル 株式会社
ホームページ <http://www.harman-japan.co.jp>